



# がん診療の特長



当院では、科学的根拠に基づいた手術療法、化学療法（抗がん剤）、放射線療法等を組み合わせた集学的治療を行っています。以下に当院のがん診療の特長を示しました。

## 肺がん

- 胸腔鏡を駆使した安全かつ患者さんにやさしい手術を提供しています。
- 進行した肺がんに対しては、放射線療法や化学療法の併用に加え温熱療法（※1）も行っています。
- 早期肺がんに対しては、病変をピンポイントに照射する定位放射線治療も行っています。

## 乳がん

- がん細胞が最初に転移するリンパ節を調べ、転移がない場合は、なるべく乳房温存術を行い、切除範囲を小さくするなど患者さんにやさしい医療を提供しています。
- 乳房切除手術に対しては、乳房を再建する手術を行っています。

## 胃がん

- 早期の胃がんに対しては、身体に負担の軽い内視鏡手術を行い、患者さんにやさしい医療を提供しています。
- 進行した胃がんに対しては、腹腔鏡手術を中心に低侵襲の治療も行っています。

## 大腸がん

- 早期の大腸がんに対しては、内視鏡を駆使し患者さんにやさしい医療を提供しています。
- 進行した大腸がんに対しては、腹腔鏡手術を中心に低侵襲の治療も行っています。
- 最新の抗がん剤（分子標的薬）を使用した化学療法も行っています。
- 直腸がんに対しては、放射線療法や化学療法の併用に加え温熱療法（※1）も行っています。

## 肝臓がん

- おなかに熱が発生する針を刺し、通電することでがんを焼灼する局所療法（ラジオ波焼灼療法）や、カテーテルを使ってがんに栄養を与える血管を塞ぐ塞栓療法（肝動脈化学塞栓術）等を患者さんの状態に応じて提供しています。
- 小さな転移がんをピンポイントに照射する定位放射線治療も行っています。

## 食道がん

- 早期の食道がんに対しては、内視鏡的治療を中心に行っています。
- 進行した食道がんに対しては、胸部食道切除を胸腔鏡下で行うことで傷口を小さくし、患者さんの痛みや負担を減らしたやさしい医療を提供しています。
- 放射線療法や化学療法の併用に加え、温熱療法（※1）を行い、患者さんに適切な医療を提供しています。

### 膵臓がん

- 血行再建を伴うような拡大手術も積極的に行っています。
- 化学療法や放射線療法の併用による集学的治療も行っています。また、温熱療法(※1)も行い、患者さんに適切な医療を提供しています。

### 腎がん

- 手術は主に体腔鏡(腹腔鏡)を用いた手術を行い、小さながんに対しては、がんの部分だけを取り除く腎部分切除も行っています。
- 進行した腎がんに対しては、手術と最新の抗がん剤(分子標的薬)による治療も行っています。

### 前立腺がん

- 進行度に応じて手術、放射線療法(小線源療法、外照射)、ホルモン療法(※2)およびこれらを組み合わせた治療を行っています。
- がんの形に合わせて放射線の量を変化させる強度変調放射線治療を行うことで、副作用が少なく、より効果的な放射線治療も行っています。

### 子宮頸がん

- 早期のがんに対し、子宮の頸部を円錐状に切除する子宮温存手術も行っています。
- 放射線療法では外照射や腔内照射も行っています。
- 放射線療法や化学療法の併用に加え温熱療法(※1)も行っています。
- 子宮頸がんの予防ワクチンの接種を積極的に行っています。

### 皮膚がん

- 腫瘍の切除だけではなく、特に顔面に対して容姿を考慮した再建術を行っています。
- がん細胞が最初に転移するリンパ節を調べることで、広範囲なリンパ節の切除を回避することが出来ます。
- 化学療法や放射線療法も行っています。

### 脳腫瘍

- 正常の脳に深く浸潤する性質がある悪性脳腫瘍に対し、術前に最新式の頭部MRを用いて正確に診断を行い、手術中に神経モニタリング、ナビゲーションシステムおよび蛍光色素など様々な最新技術を用いてより安全に手術を行っています。
- 小さな脳転移をピンポイントに照射する定位放射線治療も行っています。

### 喉頭がん

- 早期の喉頭がんでは、臓器温存が可能な化学療法と放射線療法を行っています。
- 早期であっても頸部リンパ節転移を生じている場合が多く、放射線治療後にリンパ節が残存するケースでは、転移が拡がらないための予防的な手術(頸部郭清術)を行っています。
- 下咽頭がんは大掛かりな手術となる場合が多いのですが、その際でも腸管を用いた形成術を、複数の診療科で協力して治療にあたっています。

## 口腔がん

- 高い治療効果の期待できる超選択的動注療法（がんに栄養を与えている動脈に抗がん剤を注入する治療）と放射線治療の併用療法を行っています。

## （小児）血液腫瘍

- 末梢血幹細胞移植や骨髄移植・臍帯血移植を行っています。臍帯血バンク・骨髄バンクの認定施設です。



## 放射線診療室の取り組み

- 最新の放射線治療装置を導入し、より高い照射精度が得られる画像誘導放射線治療を行い、各種の高精度照射（定位放射線治療＝ピンポイント照射、強度変調放射線治療＝IMRT）に対応しています。
- 最新のPET/CT装置を導入し、PETによる代謝情報とCTによる形態情報を融合させることにより、高精度の診断を行っています。

## 化学療法診療室の取り組み

- 入院だけでなく外来においても、新規の抗がん剤や分子標的薬を積極的に取り入れた治療を行っています。
- 抗がん剤の副作用を少なくする対策を講じ、質の高い治療を行っています。

## 緩和ケア室の取り組み

- 医師、看護師、薬剤師などで構成された緩和ケアチームでがんの痛みやつらさを和らげるようにし、できるだけ快適に療養できるように支援します。



## 看護部の支援体制

- 緩和ケア認定看護師、がん化学療法認定看護師、がん放射線療法看護認定看護師などのがん看護のスペシャリストと病棟・外来の看護師が連携して、一人一人の病状や治療に合わせた専門性の高いケアを提供しています。

（※1）温熱療法・・・がん細胞が正常細胞と比べて熱に弱いという性質を利用した、がんの治療法のこと

（※2）ホルモン療法・・・がん細胞の発育にホルモンが必要であるため、特定のホルモンを分泌している部分を手術で取り除いたり、経口や注射によってそのホルモンと反対の作用をするホルモンを投与して、がん細胞の発育を阻止する治療法のこと

